

古代学学術研究センター・研究会  
平城京に住む 人びと

日時： 3月25日（金）13:00～16:00 終了予定

会場： 奈良女子大学S棟3階 327 演習室

報告： 8世紀の京戸・京貫と京職の職務

穴戸 香美（人間文化研究科比較文化学専攻）

僧綱の管理行政 —その管轄範囲を中心に—

中川 由莉（人間文化研究科比較文化学専攻）

京に住む人々の中核ともなる京戸について、9世紀に比べ京貫記事が少ないことなどから、8世紀には京貫がそれほど行われていなかったとし、京戸を戸籍上の変動の少ない、固定的な存在とする見解が示されている。しかし、その論拠となる史料は、時代状況を踏まえて再検討する余地がある。本報告では、特に8世紀の史料に即して京戸の戸籍上の扱い、および京貫の実態を考察する。さらに、その業務を担った京職の職務内容についても言及したい。  
(穴戸報告)

僧綱は寺院の管理、僧侶の統率をはかる立場にある僧侶であり、その管轄範囲は京内寺院であると規定されている。たしかに、多数の僧侶が止住したことは指摘されているものの、京内に存在した寺院の数は限定される。そこで、実際に僧綱が管理を行った範囲を検討し、僧綱が自らと同じ世界に属する僧侶や寺院をどのように管理統率しえたのか考えてみたい。  
(中川報告)

**事前の申し込みは不要ですので、ふるってご参加ください。**

問い合わせ先：奈良女子大学 舘野和己研究室 (0742-20-3307)